

PROGRAM

この道	詩：北原白秋 曲：山田耕柞
待ちぼうけ	詩：北原白秋 曲：山田耕柞
風の子供	詩：竹久夢二 曲：中田喜直
おやすみなさい	詩：中井昌子 曲：中田喜直
カロ・ミオ・ベン	ジョルダニ
すみれ	スカラッティ
ラルゴ（オンブラ・マイフ）	ヘンデル

~~~~~ 休 憩 ~~~~~

ピアノ独奏 ----- 金 井 信

ウィーン我が夢の街 ----- ジーチンスキー

「会議は踊る」より  
唯一度だけ ----- ハイ マ ン

「セヴィリアの理髪師」より  
今の歌声は ----- ロ ッ シ ー ニ

「トスカ」より  
歌に生き恋に生き ----- ブ ッ チ ー ニ

# 四季のコンサート 夏

1988年7月1日(金) 7:00 PM

浜松市民会館ホール

主催：浜松音楽友の会

秋のコンサート 10月28日(金) 7:00 PM キヤリッ・ホルツ・ピアノリサイタル  
冬のコンサート 12月4日(日) 7:00 PM 藤原真理子・ピアノリサイタル

慶応義塾大学文学部哲学科在学中、尚美高等音楽学院本科（作曲専攻）を卒業。大学卒業後、更に東京芸術大学声楽科（ソール）卒業。現在、FM東京「望星高校通信講座」でピアノ伴奏を務める。他、故・立川清登、勝部 太等多くの声楽家と共に演。又、フエルローレの太田真季とは年間数十回のステージを共にし、最近では航空中央音楽隊をバックに「ラソフィエ・イン・ソール」を演奏するなど、ジャンルの越えたソソソナル・ピアノとして、その柔軟で豊かな音楽性が各方面で好評を得ている。

金 井 信 (かない まこと)

又、N響をはじめ、オーケストラとの協演も多く、ベートーヴェン「第九交響曲」、マラー「復活」などのコンサートやリサイタルにも活躍している。第31回文化放送音楽賞受賞。二期会会員。

国立音楽大学卒業。1984年オペラ研究所第4期修了。島田和子、中山第一に師事。オペラ研究所在籍中に二期会会員に推挙されたほど優れた資質に恵まれた。1984年7月「メリー・ウイター」の主役 ハンナをオーテ・シヨノンによって射とめ、華々しくデビュー。近來にない大型新人と思わせる見事な演唱で高い評価を得る。続いて10月公演「椿姫」のヴィオレッタも豊かな声とあやかな舞台愛が絶賛され、待望のスター歌手誕生として話題をさらった。その後、文化庁派遣による芸術家在外研修員としてミラノへ留学。帰国後「オルフェオとエウリディケー」の「エウリディケー」のロザリネ、ソフィア、ソフィアの結婚「ソフィアの結婚」の伯爵夫人、「トスカ」のタイトルロールなどを見事に歌い成功を収める。

佐 藤 し の ぶ (さと しのぶ) ソプラノ

プロフェッショナル



佐藤しのぶソプラノリサイタル

## この道

日本歌曲の父、山田耕筰は、その生涯に700曲に及ぶ歌曲や童謡を残していますが、中でも数多いのが、詩人北原白秋とのコンビによる歌です。意気投合した二人は毎晩、盃をくみかわし、語り合いながら一緒に歌を作ったということです。アカシアの花、馬車、時計台など、札幌特有の風物が折り込まれた「この道」は、大正11年白秋が北海道を旅した時の印象をもとに書いた詩で、大正15年、児童芸術雑誌「赤い鳥」に発表され、昭和2年に、山田耕筰が作曲したものです。

## 待ちぼうけ

この歌も北原白秋・山田耕筰コンビによる代表作の一つとしておなじみですが、大正14年に、当時の満州に渡っていた日本人の子供たちのために作られた童謡集「子供の村」に発表されたものです。題材は中国の民話からとられたもので、愚かな農夫のエピソードが、コミカルなタッチで描かれた一種のバラードです。

## 風の子供

豊かな旋律性と、リリカルなピアノの和声的処理で中田喜直は、日本のシューベルトにもとえられる歌曲の大家です。そのもっとも初期の作品に『六つの子供の歌』（昭和22年）におさめられた一曲。子供をうたった大人の歌曲を意図して作られ、旋律と叙情は満ちた珠玉の名品です。

## おやすみなさい

風の子供と同様に『六つの子供の歌』の中の一曲。親しみやすい旋律と、軽やかで気がきいていて効果的な和声の両面で、理屈抜きの魅力をたたえています。この曲から「夏の思い出」や「雪の降る街を」にいたる道筋はごく自然なものといえるでしょう。

## カロ・ミオ・ベン

ジョルダニーはナポリに生れ、歌劇作曲家として活躍し、一時ロンドンにもいたことがある人。彼の残したオペラや宗教音楽は、こんにちまったく忘れ去られていますが、この「カロ・ミオ・ベン（いとしいわが恋人の意）」だけが非常に有名になっています。

## すみれ

17～18世紀イタリアに活躍したスカラッチェはその生涯に110余りのオペラ、800曲にも及ぶ室内カンタータや教会音楽など多くの音楽作品を残しています。「すみれ」は、もっともポピュラーな作品ですが、この曲もまた出典はオペラ。1694年の『ピュロとデメトリオ』の第二幕のアリアです。

## ラルゴ（オンブラ・マイフ）

今ではほとんど上演される機会のないヘンデルのオペラ「セルセ」の第一幕冒頭のアリア。日本でも古くから

独立した歌曲として、あるいは編曲されたピアノ独奏曲としてなじみの深い曲でしたが、なんといってもTVのCF、キャスリーン・バトルの歌で一躍ポピュラーになりました。

## ウィーン我が夢の街

ベートーヴェン、モーツァルト、シューベルト、そしてヨハン・シュトラウス一家が過ごした街、ウィーン、すり減った石だたみの小道を行けば、古き良き時代の都ウィーンがよみがえります。しっとりとした情緒たよう街並、緑の美しいウィーンの森、そして美味しいワイン、音楽ファンならずとも一度は訪ねてみたい街です。「ウィーン我が夢の街」は、そんなウィーンへの夢と憧れを満ちてくれる粋なウィーンの小唄です。

## 「会議は踊る」より 唯一度だけ

ウィーンといえば、御年配の映画ファンの方ならきっと思い出されるでしょう。トーキー初期のドイツ映画の名作「会議は踊る」そして主演のリリアン・ハヴェーの歌った主題歌「唯一度だけ」を…。ナポレオン失脚後のヨーロッパを支配しようとしていたオーストリア宰相メッテルニヒが、1814年世界各国の元首、宰相を集めて開いた有名なウィーン会議「会議は踊る、されど会議は進まず」という歌まで生れたように、会議を有利に導くためのメッテルニヒの策謀で、ウィーンは連日連夜、豪華な宴会と音楽と踊りに明け暮れていました。名画「会議は踊る」はそんなウィーンを背景に、ロシア皇帝とウィーンの下町娘のはかない恋を描いたもので、「唯一度だけ」は、ロシア皇帝さし廻しの馬車で、皇帝の別荘に向かうウィーン娘が、その幸せを沿道の人々に向かって歌う歌で、世界中で大ヒット曲となりました。

## 「セヴィリアの理髪師」より 今の歌声は

美しい娘ロジーナは、後見人である医師のバルトロの窓辺で聞いたリンドロ（実はアルマヴィーヴァ伯爵）の歌声にはげしく心をかきたてられ、素直でやさしい娘でも恋のためには強くなるのだと歌います。……ロシーニのオペラの中でもっとも人気の高い作品「セヴィリアの理髪師」のこのアリアはオリジナルはメゾ・ソプラノの為に書かれたのですが、現在ではソプラノがその高音のテクニックを発揮して歌う事が一般的になっています。

## 「トスカ」より 歌に生き恋に生き

ローマを訪れた方は、きっと立寄られたことでしょう。歌姫トスカがその城壁から身を投げたというサンタンジェロ城を……。歌姫トスカが思いを寄せている画家カヴァラドッシは政治犯の友人をかくまった疑いで捕えられ、ひそかにトスカを愛している監視総督スカルビアの手で処刑されようとしています。トスカは、恋人の命とひきかえに、スカルビアに身を捧げると約束しながら、迫ってくるスカルビアを殺害してしまいます。でもスカルビアもさるもの、晴れて結ばれるかとかけ離れたトスカの前で、カヴァラドッシは銃殺され、トスカも又城壁から身を投げるといふ悲恋物語。「歌に生き恋に生き」は、カヴァラドッシの命とひきかえに、スカルビアに迫られたトスカがその苦しい胸の中を歌う有名なアリアです。